

感受期【後期】(小3・小4)

■ 感受期の学習のねらいと学習活動例一覧

段階	学年	幼児・児童・生徒が11年間で身に付ける資質・能力・態度			
		環境についての感受性 共生や思いやりの心	環境に対する見方・考え方		環境に働きかける 実践力
			環境に対する 思考・判断・表現	問題解決に必 要な技能	
感受期(後期)	小4 小3	○自然に触れ、自然の事物・現象から感受する活動の機会を多く設定し、自然を体験するなかから、守るべき自然がどのようなものであるかとらえさせる。			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分の身近な地域の自然環境や社会環境に興味・関心を持ち、意欲的に関わることができる。</li> <li>●自然のすばらしさや不思議さに感動し、命や自然を大切にすることができる心をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●様々な体験活動を通して、身近な地域の環境のよさや問題点に気付くことができる。</li> <li>●人々の生活は、環境と深く関わっていることや、よりよい環境づくりのための人々の工夫や努力に気付くことができる。</li> <li>●集めた資料を効果的に活用し、課題や自分の考えを分かりやすく表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●目的を明確にした取材活動や観察・調査を行い、情報を収集・選択することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●身近な地域の自然環境や社会環境の特徴と現状について理解することができる。</li> <li>●自分たちの生活は、よりよい地域の環境を作ろうとする人々の努力の上に成り立っていることを理解することができる。</li> </ul>

●活動事例

No.	1	活動名	学校の生き物を調べよう	活動に要する時間	15時間程度
環境をとらえる視点		循環 (多様性) (生態系) (共生)		有限性	保全
概要	FEEL		THINK	ACTION	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プールのヤゴ救出作戦に取り組もう。</li> <li>・ヤゴを飼ってトンボにしよう。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校にいる生き物を調べて生き物マップを作ろう。</li> <li>・生き物に触れてみよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生き物が住みやすくなるためにできることを考えよう。</li> </ul>	
No.	2	活動名	学校の木や草花のようすを調べよう	活動に要する時間	15時間程度
環境をとらえる視点		循環 (多様性) (生態系) (共生)		有限性	保全
概要	FEEL		THINK	ACTION	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花や葉、植物の実を利用したもの作りをしよう。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校にある木や草花を調べて植物マップを作ろう。</li> <li>・植物を使ってできること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の木や草花を守るためにできることを考えよう。</li> </ul>	
No.	3	活動名	わたしたちの暮らしに役立つ植物を育てよう	活動に要する時間	15時間程度
環境をとらえる視点		(循環) 多様性 生態系 共生		(有限性)	(保全)
概要	FEEL		THINK	ACTION	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に役立つ植物には何があるのか知ろう。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に役立つ植物を育てよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育てた植物を使ってみよう。</li> </ul>	
No.	4	活動名	水とわたしたちの暮らしについて考えよう	活動に要する時間	15時間程度
環境をとらえる視点		(循環) 多様性 生態系 共生		(有限性)	(保全)
概要	FEEL		THINK	ACTION	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲み水が届くまでと、届いてからの道筋を知ろう。</li> <li>・水資源に恵まれない国の暮らしを知ろう。</li> <li>・水を取り巻く問題について知ろう。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での水の使用について調べよう。</li> <li>・地域の水の様子と水を取り巻く環境について調べよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を通して分かったことをこれからの生活に生かそう。</li> </ul>	
No.	5	活動名	ゴミ減量作戦に取り組もう	活動に要する時間	15時間程度
環境をとらえる視点		(循環) 多様性 生態系 共生		(有限性)	(保全)
概要	FEEL		THINK	ACTION	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板橋区のゴミの現状を知ろう。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校から出るゴミを調べ、ゴミを減らすための生活の仕方を考えよう。</li> <li>・清掃事務所の方から学ぼう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や家庭のゴミ減量リーダーになろう。</li> </ul>	
No.	6	活動名	地域エコマップを作ろう	活動に要する時間	15時間程度
環境をとらえる視点		循環 多様性 (生態系) (共生)		(有限性)	(保全)
概要	FEEL		THINK	ACTION	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室のエアコンの使い方について話し合おう。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域エコマップを作ろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の環境改善に向けて、自分たちにできることに取り組もう。</li> </ul>	

## 1 「学校の生き物を調べよう」

## 1 単元の目標

- (1) 学校にいる生き物について触れたり、調べたりする活動を通して、身近な自然環境に対する感受性、自然や生命のすばらしさに感動することができるようにする。
- (2) よりよい環境づくりのために自ら見いだした問題について、共生や思いやりの心をもって解決に向けての具体的手だてを考え、自らの生活を改善していく実践行動につなげるられるようにする。

## 2 評価の観点

評価の観点		内 容
環境についての感受性 共生や思いやりの心		<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の生き物に興味・関心をもち、生き物について調べる活動や飼育活動に意欲的に関わることができる。</li> <li>学校の生き物のすばらしさや不思議さに感動し、命や自然を生きている仲間として大切にできる。</li> </ul>
環境に対する 見方・考え方	環境に対する 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の生き物について調べたり飼育したりする活動を通して、身近にある環境のよさや問題点に気付くことができる。</li> <li>学校の生き物について調べた情報を効果的に活用し、自分の考えを分かりやすく表現できる。</li> </ul>
	問題解決に必要な 技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の生き物について観察や調査を行い、自ら情報を収集・選択することができる。</li> </ul>
	環境に対する 知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の生き物の特徴や現状について理解できる。</li> </ul>
環境に働きかける実践力		<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の生き物を観察したり飼育したりする活動を通して、自分たちの生活が自然との関わりの上にあることに気付き、身近な生き物を大切にできる。</li> </ul>

## 3 指導計画【全15時間程度】

時	主な学習活動	◇教師の支援 ◆主な評価
F E E L	○ エコスタイルチェックで自分の生活を見つめ直そう。	◇ 他者との競争でなく、自らの生活を素直に見つめさせる。
	○ プールのヤゴ救出作戦に取り組もう。 ・ ヤゴについての基本的知識 ・ プールと生き物の関係	◇ 関係機関との連携を図る。 ◇ 視聴覚資料を活用し、ヤゴやトンボの生態、プールと生き物との関係などを実感的に捉えられるようにする。
	② ③ ④ ○ ヤゴを救出するための道具の製作 ・ ヤゴの採取活動	◇ プールにおける安全への配慮をする。
	○ ヤゴを飼ってトンボにしよう。 ・ 飼育容器の製作 ・ 観察記録	◆【環境についての感受性】生き物に興味・関心をもち、生き物について調べる活動や飼育活動に意欲的に関わることができる。 ◆【共生や思いやりの心】生き物のすばらしさや不思議さに感動するとともに、命や自然を生きている仲間として慈しみ、大切にしようとする。

	時	主な学習活動	◇教師の支援 ◆主な評価
T H I N K	⑤	○ 学校にいる生き物を調べて生き物マップを作ろう。 ・ 昆虫のなかま ・ 鳥のなかま ・ 魚のなかま ・ そのほかの生き物 ・ 生き物のいる場所の様子 ・ えさについて 調べたことを生き物マップの中に絵や文で表現する。	◇ 多様な生き物のすがたに気付かせる。 ◇ 生き物と周りの様子との関連に着目させる。 ◇ 校内のいろいろな場所での観察が実施できるようにする。 ◇ 生き物に対する自分なりの思いや願いを明らかにさせる。 ◇ 生命の大きさに目を向けさせる。 ◇ 図鑑の使い方などの情報収集、観察の方法について指示する。 ◇ 関係機関との連携を図る。
	⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪	○ 生き物に触れてみよう。 ・ 都・区のふれあい動物教室 ・ 板橋区子ども動物園 ・ 昆虫の飼育 ・ ビオトープの観察や管理  ・ ホタルの飼育施設の見学	◆【環境に対する見方・考え方】 〈思考・判断・表現〉 ・ 身近にある環境のよさや問題点に気付くことができる。 ・ 自分の生活と環境に与える影響とを関連付けて考えることができる。 ・ 得られた情報を活用し、自らの考えを分かりやすく表現できる。 〈技能・表現〉 ・ 目的を明確にして、課題解決に必要な情報を得ることができる。 〈知識・理解〉 ・ 自分たちの生活が自然との関わりの上にあることに気付き、身近な生き物を大切にできる。
A C T I O N	⑫ ⑬ ⑭ ⑮	○ 生き物が住みやすくなるためにできることを考えよう。 ・ 生き物を大切にしようとする取組の中で自分にできることを考え、行動として表す。	◇ 自分や友だちが調べた内容を踏まえて行動につなげられるようにする。 ◇ 行動目標は実行可能な内容になるようにする。 ◇ ①時に実施したエコスタイルチェックを振り返らせる。  ◆【環境に働きかける実践力】 生き物と自分たちの生活とは関わりがあることに気付き、身近な生き物を大切にできる。

#### 4 単元の評価規準

- (1) 生き物に興味・関心をもち、生き物について調べる活動や飼育活動に意欲的に関わるとともに、生命のすばらしさや不思議さに感動し、生きている仲間として大切にしている。(エコスタイルチェック記入内容、行動観察)
- (2) 学校の生き物について意欲的に調べ、調べた情報を効果的に活用して、自分の考えを分かりやすく表現している。(ワークシート記述内容、情報収集の方法と的確さ、事実に基づいた理解)
- (3) 生き物を大切にしようとする取組を実践している。(活動状況の分析)

## 2 「学校の木や草花のようすを調べよう」

## 1 単元の目標

- (1) 学校にある木や草花について触れたり、調べたりする活動を通して、身近な自然環境に対する感受性、自然や生命のすばらしさに感動することができるようにする。
- (2) よりよい環境づくりのために自ら見いだした問題について、共生や思いやりの心をもって解決に向けての具体的手だてを考え、自らの生活を改善していく実践行動につなげられるようにする。

## 2 評価の観点

評価の観点		内 容
環境についての感受性 共生や思いやりの心		<ul style="list-style-type: none"> <li>木や草花に興味・関心をもち、植物について調べる活動に意欲的に関わることができる。</li> <li>木や草花のすばらしさや不思議さに感動し、命や自然を生きている仲間として大切にできる。</li> </ul>
環境に対する見方・考え方	環境に対する思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の木や草花について調べる活動を通して、身近にある環境のよさや問題点に気付くことができる。</li> <li>学校の木や草花について調べた情報を効果的に活用し、自分の考えを分かりやすく表現できる。</li> </ul>
	問題解決に必要な技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の木や草花について観察や調査を行い、自ら情報を収集・選択することができる。</li> </ul>
	環境に対する知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の木や草花の特徴や現状について理解できる。</li> </ul>
環境に働きかける実践力		<ul style="list-style-type: none"> <li>木や草花を観察する活動を通して、自分たちの生活が自然との関わりの上にあることに気付き、身近な植物を大切にできる。</li> </ul>

## 3 指導計画【全15時間程度】

時	主な学習活動	◇教師の支援 ◆主な評価
F E E L	○ エコスタイルチェックで自分の生活を見つめ直そう。	◇ 他者との競争でなく、自らの生活を素直に見つめさせる。
	○ 花や葉、植物の実を利用したもの作りをしよう。	◇ 多様な植物に触れさせるようにする。
	① ② ③ ・ 押し花作り ・ ドライフラワー作り ・ 花飾り作り ・ 草笛 ・ ハーブティー ・ 木の実で工作 等	◆【環境についての感受性】木や草花に興味・関心をもち、植物に触れる活動に意欲的に関わることができる。 ◆【共生や思いやりの心】木や草花のすばらしさや不思議さに感動するとともに、生きている仲間として慈しみ、大切にしようとする。

	時	主な学習活動	◇教師の支援 ◆主な評価
T H I N K		○ 学校にある木や草花を調べて植物マップを作ろう。 ・ 樹木のなかま ・ 草花のなかま ・ 葉や花、実の様子 ・ 日なたの植物、日かげの植物 ・ 植物と生き物との関係 ・ 季節や時間による変化 調べたことを植物マップの中に絵や文で表現する。	◇ 多様な植物のすがたに気付かせる。 ◇ 植物と周りの様子との関連に着目させる。 ◇ 校内のいろいろな場所での観察が実施できるようにする。 ◇ 植物に対する自分なりの思いや願いを明らかにさせる。 ◇ 植物にも生命があることに気付かせる。 ◇ 図鑑の使い方などの情報収集、観察の方法について指示する。 ◇ 関係機関との連携を図る。
	④		
	⑤		
	⑥	○ 植物を使ってできること。	◆【環境に対する見方・考え方】
	⑦	・ 果実でジャムやジュース作り	〈思考・判断・表現〉
	⑧	・ 落ち葉を集めて焼き芋パーティ	・ 身近にある環境のよさや問題点に気付くことができる。
	⑨	・ 木の葉を貯めて木の葉のベッド	・ 自分の生活と環境に与える影響とを関連付けて考えることができる。
	⑩	・ 堆肥作り	・ 得られた情報を活用し、自らの考えを分かりやすく表現できる。
	⑪	・ 板橋区熱帯植物園の見学	〈技能〉
			・ 目的を明確にして、課題解決に必要な情報を得ることができる。
	A C T I O N		○ 学校の木や草花を守るためにできることを考えよう。 ・ 木や草花を大切にしようとする取組の中で自分にできることを考え、行動として表す。
⑫			◆【環境に働きかける実践力】植物と自分たちの生活とは関わりがあることに気づき、身近な植物を大切にできる。
⑬			
⑭			
⑮			

#### 4 単元の評価規準

- (1) 身近な木や草花に興味・関心をもち、植物について調べる活動に意欲的に関わるとともに、生命のすばらしさや不思議さに感動し、生きている仲間として大切にしている。(エコスタイルチェック記入内容、行動観察)
- (2) 学校の木や草花について意欲的に調べ、調べた情報を効果的に活用して、自分の考えを分かりやすく表現している。(ワークシート記述内容、情報収集の方法と的確さ、事実に基づいた理解)
- (3) 植物を大切にしようとする取組を実践している。(活動状況の分析)

## 3 「私たちの暮らしに役立つ植物を育てよう」

## 1 単元の目標

- (1) 生活に役立つ植物について調べ、栽培する活動を通して、自然環境に対する感受性、自然や生命のすばらしさに感動することができるようにする。
- (2) よりよい環境づくりのために自ら見いだした問題について、共生や思いやりの心をもって解決に向けての具体的手だてを考え、自らの生活を改善していく実践行動につなげられるようにする。

## 2 評価の観点

評価の観点		内 容
環境についての感受性 共生や思いやりの心		<ul style="list-style-type: none"> <li>生活に役立つ植物に興味・関心をもち、栽培活動に意欲的に関わることができる。</li> <li>植物のすばらしさや不思議さに感動し、植物から受ける恩恵を大切にできる。</li> </ul>
環境に対する見方・考え方	環境に対する思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活に役立つ植物について調べ、栽培する活動を通して、身近にある環境のよさや問題点に気付くことができる。</li> <li>生活に役立つ植物について調べた情報を効果的に活用し、自分の考えを分かりやすく表現できる。</li> </ul>
	問題解決に必要な技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活に役立つ植物について観察や調査を行い、自ら情報を収集・選択することができる。</li> </ul>
	環境に対する知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>栽培植物の特徴や現状について理解できる。</li> </ul>
環境に働きかける実践力		<ul style="list-style-type: none"> <li>植物の栽培活動を通して、自分たちの生活が自然との関わりの上にあることに気付き、身近な植物を大切にできる。</li> </ul>

## 3 指導計画【全15時間程度】

時	主な学習活動	◇教師の支援 ◆主な評価
F E E L ① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ エコスタイルチェックで自分の生活を見つめ直そう。</li> <li>○ 生活に役立つ植物には何があるのか知ろう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 野菜として</li> <li>・ 穀物として</li> <li>・ 香辛料やハーブとして</li> <li>・ 綿など繊維として</li> <li>・ 藍など染料として</li> <li>・ 薬として 等</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 他者との競争でなく、自らの生活を素直に見つめさせる。</li> <li>◇ 多様な植物と役割に触れる。</li> <li>◇ 実物や視聴覚資料を活用し、植物と製品との関係などを実感的に捉えられるようにする。</li> <li>◆【環境についての感受性】生活に役立つ植物に興味・関心をもち、活動に意欲的に関わることができる。</li> <li>◆【共生や思いやりの心】植物のすばらしさや不思議さに感動するとともに、生きている仲間として慈しみ、大切にしようとする。</li> </ul>

	時	主な学習活動	◇教師の支援 ◆主な評価	
T H I N K		○ 生活に役立つ植物を育てよう。 ・ 小麦の栽培 ・ 藍の栽培 ・ 綿の栽培 ・ ケナフの栽培 ・ 葉や花、実の様子 ・ 植物と生き物との関係 ・ 季節や時間による変化 観察記録に絵や文で表現する。	◇ 多様な植物のすがたに気付かせる。 ◇ 植物と周りの様子との関連に着目させる。 ◇ 数種の植物の栽培が実施できるようにする。 ◇ 植物に対する自分なりの思いや願いを明らかにさせる。 ◇ 図鑑の使い方などの情報収集、観察の方法について指示する。 ◇ 関係機関との連携を図る。  ◆【環境に対する見方・考え方】 〈思考・判断・表現〉 ・ 身近にある環境のよさや問題点に気付くことができる。 ・ 自分の生活と環境に与える影響とを関連付けて考えることができる。 ・ 得られた情報を活用し、自らの考えを分かりやすく表現できる。 〈技能〉 ・ 目的を明確にして、課題解決に必要な情報を得ることができる。 〈知識・理解〉 ・ 自分たちの生活が自然との関わりの上にあることに気づき、身近な植物を大切にできる。	
	④			
	⑤			
	⑥			
	⑦			
	⑧			
	⑨			
	A C T I O N		○ 育てた植物を使ってみよう。 ・ 小麦を使ってパンやうどん作り ・ 藍を使って、藍染めや草木染め ・ 綿花から綿糸作り ・ ケナフから繊維を取り出し紙作り	◇ 育てた植物に感謝の気持ちをもって活動につなげられるようにする。 ◇ 植物にも生命のあることや植物の命と引き替えに人間が手に入れているものに気付かせる。 ◇ ①時に実施したエコスタイルチェックを振り返らせる。  ◆【環境に働きかける実践力】植物と自分たちの生活とは関わりがあることに気づき、身近な植物を大切にできる。
		⑩		
⑪				
⑫				
⑬				
⑭ ⑮				

#### 4 単元の評価

- (1) 生活に役立つ植物に興味・関心をもち、植物について調べ、栽培する活動に意欲的に関わるとともに、生命のすばらしさや不思議さに感動し、生きている仲間として大切にしようとしている。(エコスタイルチェック記入内容、行動観察)
- (2) 生活に役立つ植物について意欲的に調べ、情報を効果的に活用して、自分の考えを分かりやすく表現している。(観察記録記述内容、情報収集の方法と的確さ、事実に基づいた理解)
- (3) 植物を大切にしようとする取組を実践している。(活動状況の分析)



## 4 「水とわたしたちの暮らしについて考えよう」

## 1 単元の目標

- (1) 水の循環や水と生活との関わりについて調べる活動を通して、水が直面する環境問題を身近なものとして捉えることができるようにする。
- (2) 身近な自然環境や社会環境から見いだした問題について、共生や思いやりの視点から解決に向けての具体的手だてをまとめ、自らの暮らし方を改善していく実践行動につなげることができるようにする。

## 2 評価の観点

評価の観点		内 容
環境についての感受性 共生や思いやりの心		<ul style="list-style-type: none"> <li>水の循環や水の働きについて調べる活動に興味・関心をもって関わることができる。</li> <li>水の大切さやすばらしさに感動し、水資源を大切にできる。</li> </ul>
環境に対する見方・考え方	環境に対する思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>水の使い方や身近な水に関わる環境について調べる活動を通して、自らの生活の問題点に気付くことができる。</li> <li>自分たちの生活は水と深く関わっていることや、よりよい水環境づくりのための人々の工夫や努力に気付くことができる。</li> <li>水の循環や水質、水の働きについて調べた情報を効果的に活用し、自分の考えを分かりやすく表現できる。</li> </ul>
	問題解決に必要な技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>水の循環や水質、水の働きについて調査を行い、自ら情報を収集・選択することができる。</li> </ul>
	環境に対する知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>水質保全のための身近な取組について知り、自分たちにもできることがあることについて理解する。</li> <li>水をめぐる様々な問題について理解できる。</li> </ul>
環境に働きかける実践力		<ul style="list-style-type: none"> <li>水質保全のための身近な取組について知り、自分の生活の中で実践できる。</li> </ul>

## 3 指導計画【全15時間程度】

時	主な学習活動	◇教師の支援 ◆主な評価
F E E L	○ エコスタイルチェックで自分の生活を見つめ直そう。	◇ 他者との競争でなく、自らの生活を素直に見つめさせる。
	○ 飲み水が届くまでと、届いてからの道筋を知ろう。 ・ 山林の働き ・ ダム ・ 浄水場、下水処理場の仕組み ・ 蒸発	◇ 水の大循環や上・下水道施設について、概要資料を提示する。 ◇ 視聴覚資料を活用し、水資源に恵まれない国の暮らしや水が直面する環境問題を実感的に捉えられるようにする。
	○ 水資源に恵まれない国の暮らしを知ろう。 ・ 安全な水の大切さ	◆【環境についての感受性】水のもたらす恩恵について知り、自分の生活がそれらに影響を及ぼす可能性のあることを率直に受け止めることができる。
	○ 水を取り巻く問題について知ろう。 ・ 水質汚濁、節水	◆【共生や思いやりの心】水と生命は深くつながっていることを知り、水の大切さが分かる。

	時	主な学習活動	◇教師の支援 ◆主な評価		
T H I N K		○ 家庭での水の使用について調べよう。 ・ 水は、どこで、どのように、どれだけ使われているかを調査する。(炊事、洗濯、入浴、洗面、トイレ等) ・ 節水のための工夫	◇ 水使用の実態を自らの生活と関連させて捉えさせる。 ◇ 自分なりの思いや願いを明らかにさせる。 ◇ 活動計画を立てさせる。 ◇ 情報収集、実験や観察の方法について例示する。 ◇ 関係機関との連携を図る。		
	④	○ 地域の水の様子と水を取り巻く環境について調べよう。	◆【環境に対する見方・考え方】 〈思考・判断〉 ・ 理由を明確にして学習課題を見付けることができる。 ・ 自分の生活と環境に与える影響とを関連付けて考えることができる。 〈技能・表現〉 ・ 目的を明確にして、課題解決に必要な情報を得ることができる。 ・ 得られた情報を活用し、自らの考えを分かりやすく表現できる。 〈知識・理解〉 ・ 自分にもできる水を大切にする取組があることを知る。 ・ 水を取り巻く問題の実態を理解する。		
	⑤				
	⑥	・ 身近な川の水質調査(バックテスト)と川の様子			
	⑦	・ 昔の川と現在の川の比較			
	⑧	・ 水生植物			
	⑨	・ 水辺の生き物			
	⑩	・ 水の中の小さな生き物(プランクトン)			
	⑪	・ 川が生活にもたらす豊かさ(景観・河川敷利用)			
	⑫	・ 地域の川が直面している環境問題とその解決に向けての取組の様子			
	⑬	・ 水再処理センター見学 調べたことをレポートや新聞、プレゼンテーションソフトなどを使って発表する。			
	A C T I O N	⑭		○ 学習を通して分かったことをこれからの生活に生かそう。	◇ 自分や友だちが調べた内容を踏まえて行動につなげられるようにする。 ◇ 行動目標は実行可能な内容になるようにする。 ◇ ①時に実施したエコスタイルチェックを振り返らせる。  ◆【環境に働きかける実践力】自分の生活の中で、水を大切にするための取組を実践できる。
		⑮		・ 水資源を守り育てていくために自分で取り組めることを考え、行動として表す。	

#### 4 単元の評価規準

- (1) 水のもたらす恩恵や水を大切に生活していく重要性について知るとともに、自分の生活がそれらに影響を及ぼす可能性のあることを率直に受け止めている。(エコスタイルチェック記入内容、話し合い活動における発言分析)
- (2) 水の使用状況や地域の川の様子や働き、水が直面する問題について、自ら課題を設定し、見通しある学習計画を立てて、よりよく問題解決の活動に取り組んでいる。(課題設定とその理由の分析、ワークシート記述内容、情報収集の方法と的確さ、事実に基づいた理解)
- (3) 水を大切にする取組を実践している。(活動状況の分析)

## 5 「ゴミ減量作戦に取り組もう」

## 1 単元の目標

- (1) 学校や家庭において出されるゴミの現状やゴミの処分の方法について調べる活動を通して、自らの生活との関わりから、自然環境に対する感受性やものを大切にすることができるようにする。
- (2) よりよい環境づくりのために自ら見いだした問題について、共生や思いやりの心をもって解決に向けての具体的手だてを考え、自らの生活を改善していく実践行動につなげることができるようにする。

## 2 評価の観点

評価の観点		内 容
環境についての感受性 共生や思いやりの心		<ul style="list-style-type: none"> <li>学校や家庭において出されるゴミの現状や処分の方法について調べる活動に、興味・関心をもって関わることができる。</li> <li>3Rの考え方に共感し、限りある資源やものを大切にできる。</li> </ul>
環境に対する 見方・考え方	環境に対する 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校や家庭において出されるゴミの現状や処分の方法について調べる活動を通して、自らの生活の問題点に気付くことができる。</li> <li>自分たちの生活は、環境と関わっていることやよりよい環境づくりのための人々の工夫や努力に気付くことができる。</li> <li>学校や家庭において出されるゴミの現状や処分の方法について調べた情報を効果的に活用し、自分の考えを分かりやすく表現できる。</li> </ul>
	問題解決に必要な 技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校や家庭において出されるゴミの現状や処分の方法について調査を行い、自ら情報を収集・選択することができる。</li> </ul>
	環境に対する 知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミの現状や処分の方法、3Rの考え方について理解できる。</li> <li>自分たちの生活は、よりよい地域の環境を作ろうとする人々の努力の上に成り立っていることが理解できる。</li> </ul>
環境に働きかける実践力		<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミの現状や処分の方法について知り、ゴミの減量やものを大切に取る取組を実践できる。</li> </ul>

## 3 指導計画【全15時間程度】

時	主な学習活動	◇教師の支援 ◆主な評価
F E E L	○ エコスタイルチェックで自分の生活を見つめ直そう。	◇ 他者との競争でなく、自らの生活を素直に見つめさせる。
	○ 板橋区のゴミの現状を知ろう。	◇ 実物や視聴覚資料を活用し、ゴミの現状と処分の方法、最終処分場の様子などを実感的に捉えられるようにする。
	① ゴミの種類	◇ エネルギー・サーマルの考え方に触れる。
	② 回収日	◇ 関係機関との連携
③ 回収のルール	◆【環境についての感受性】学校や家庭において出されるゴミの現状や処分の方法に興味・関心をもち、活動に意欲的に関わることができる。	
④ 処分方法		◆【共生や思いやりの心】3Rの考え方を知り、それに共感するとともに、限りある資源やものを大切にしようとする。
	・ 最終処分場の現状	
	・ ゴミと資源 等	
	・ 清掃工場見学	

	時	主な学習活動	◇教師の支援 ◆主な評価
T H I N K		○ 学校から出るゴミを調べ、ゴミを減らすための生活の仕方を考えよう。 ・ ゴミの種類と量 ・ 曜日とゴミの量の変化 ・ 給食の残滓 ・ エコマークやリサイクルマークの意味 ・ 学校でできる3R ・ 残滓を利用した堆肥作り ・ 調べたことを絵や文を使ってまとめ、表現する。	◇ ゴミの現状と学校生活との関わりに気付かせる。 ◇ 継続的に調査が実施できるようにする。 ◇ エコマークやリサイクルマークについて、マークが付いている製品と共にその意味を理解させる。 ◇ ゴミ減量に対する自分なりの思いや願いを明らかにさせる。 ◇ 情報収集、調査の方法について指示する。 ◇ 関係機関との連携を図る。
	⑤		
	⑥	○ 清掃事務所の方から学ぼう	◆【環境に対する見方・考え方】
	⑦	・ ゴミの現状や処分方法	〈思考・判断・表現〉
	⑧	・ 清掃事務所の方の思いや願い	・ ゴミの現状を調べる活動を通して、自らの生活の問題点に気付くことができる。
	⑨		・ 自分の生活と環境に与える影響とを関連付け、よりよい環境づくりのための人々の工夫や努力に気付くことができる。
	⑩		・ 得られた情報を活用し、自らの考えを分かりやすく表現できる。
	⑪		〈技能〉
	⑫		・ 目的を明確にして、課題解決に必要な情報を得ることができる。
			〈知識・理解〉
			・ ゴミの現状や処分の方法、3Rの考え方について理解できる。
			・ よりよい地域の環境を作ろうとする人々の努力を理解できる。
A C T I O N		○ 学校や家庭のゴミ減量リーダーになろう。 ・ ○年○組のゴミ減量作戦を学校にPRする。 ・ ゴミ減量作戦の成果を発表し、校内に取組を広げる。	◇ 自分や友だちが調べた内容を踏まえて行動につなげられるようにする。
	⑬		◇ 行動目標は実行可能な内容になるようにする。
	⑭	・ ゴミ減量作戦を家庭や地域に広げる。	◇ ①時に実施したエコスタイルチェックを振り返らせる。
	⑮		◆【環境に働きかける実践力】 ゴミの減量や3R、ものを大切にする取組を実践できる。

#### 4 単元の評価規準

- (1) 学校や家庭において出されるゴミの現状や処分の方法に興味・関心をもって調べ、自らの生活との関わりに気づき、限りある資源やものを大切にしている。(エコスタイルチェック記入内容、行動観察)
- (2) ゴミの現状やゴミ減量の方法について意欲的に調べ、情報を効果的に活用して、自分の考えを分かりやすく表現している。(ワークシート記述内容、情報収集の方法と的確さ、事実に基づいた理解)
- (3) ゴミの減量や3R、ものを大切にする取組を実践している。(活動状況の分析)

## 6 「地域エコマップを作ろう」

## 1 単元の目標

- (1) 学校や地域の自然環境や社会環境について調べる活動を通して、自らの生活との関わりから、地域の環境に対する感受性や地域を自分のふるさととして愛する心をもつことができるようにする。
- (2) よりよい地域の環境づくりのために自ら見いだした問題について、共生や思いやりの心をもって解決に向けての具体的手だてを考え、自らの生活を改善していく実践行動につなげることができるようにする。

## 2 評価の観点

評価の観点		内 容
環境についての感受性 共生や思いやりの心		<ul style="list-style-type: none"> <li>学校や地域の自然環境や社会環境について調べる活動に、興味・関心をもって関わるができる。</li> <li>学校や地域を愛し、よりよい環境にしていこうとする気持ちをもつことができる。</li> </ul>
環境に対する見方・考え方	環境に対する思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校や地域の自然環境や社会環境について調べる活動を通して、自らの生活の問題点に気付くことができる。</li> <li>自分たちの生活は、環境と関わっていることやよりよい環境づくりのための人々の工夫や努力に気付くことができる。</li> <li>学校や地域の自然環境や社会環境について調べた情報を効果的に活用し、自分の考えを分かりやすく表現できる。</li> </ul>
	問題解決に必要な技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校や地域の自然環境や社会環境について観察や調査を行い、自ら情報を収集・選択することができる。</li> </ul>
	環境に対する知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校や地域の自然環境や社会環境の特徴や現状について理解できる。</li> <li>自分たちの生活は、よりよい地域の環境を作ろうとする人々の努力の上に成り立っていることが理解できる。</li> </ul>
環境に働きかける実践力		<ul style="list-style-type: none"> <li>学校や地域の自然環境や社会環境について知り、省エネルギーやものを大切にすることを実践できる。</li> </ul>

## 3 指導計画【全15時間程度】

時	主な学習活動	◇教師の支援 ◆主な評価
F E E L	○ エコスタイルチェックで自分の生活を見つめ直そう。	◇ 他者との競争でなく、自らの生活を素直に見つめさせる。
	○ 教室のエアコンの使い方について話し合おう。	◇ 昔の人々の夏を快適に過ごす工夫について触れる。
	・ 夏を涼しく過ごすための工夫	◇ 電力消費と二酸化炭素排出量や化石燃料消費量との関係が分かる資料を提示する。
	・ 「緑のカーテン」の取組	◇ 関係機関との連携
②	・ 「緑のカーテン」のある教室と無い教室との室温の変化(※「緑のカーテン」実施校のみ)	◆【環境についての感受性】学校の環境と自分たちの暮らしとの関わりに興味・関心をもち、活動に意欲的に関わるができる。
③	・ 学校の中で最も涼しい場所の秘密	◆【共生や思いやりの心】エアコンの使い方を通して省エネルギーの考え方を知り、限りある資源やエネルギーを大切にしようとする。
④	・ エアコンの設定温度と電力消費の関係	
	・ ○年○組のエアコン・ルールづくり	

	時	主な学習活動	◇教師の支援 ◆主な評価
T H I N K		○ 地域エコマップを作ろう。 ・ 環境とは私たちを取り囲んでいる周りの世界 ・ ゴミの様子 ・ 落書きの様子 ・ 空気のおい ・ 温度の測定 ・ 聞こえる音の様子 ・ 植物や動物など生き物の様子 ・ 遊び場になる場所の様子 ・ 建物の様子	◇ 自然環境と社会環境の両面に着目させる。 ◇ 調査の方法について指示する。 ◇ 調査する項目や調査対象の地域について自分なりの視点をもって話し合わせる。 ◇ 地域の環境と自分たちの生活との関連に気付かせる。 ◇ 地域の環境に対する自分なりの思いや願いを明らかにさせる。 ◇ 野外活動時の安全への配慮。 ◇ 関係機関との連携を図る。
	⑤	・ 人や車の様子	
	⑥	・ 地域のよさについて気付いたこと	◆【環境に対する見方・考え方】
	⑦	・ 「もっとこうなるとよい」と考えたこと	〈思考・判断・表現〉
	⑧	・ 調べたことを絵や文を使って地図にまとめ、表現する。	・ 地域の環境を調べる活動を通して、身近な環境のよさや問題点に気付くことができる。
	⑨		・ 地域に暮らす人々の生活が環境に深く関わることや、よりよい環境づくりのための人々の工夫や努力に気付くことができる。
	⑩		・ 得られた情報を活用し、自らの考えを分かりやすく表現できる。
	⑪		〈技能〉
	⑫		・ 目的を明確にして、課題解決に必要な情報を得ることができる。
			〈知識・理解〉
			・ 地域の環境の特徴と現状について理解できる。 ・ よりよい地域の環境を作ろうとする人々の工夫や努力を理解できる。
	A C T I O N		○ 地域の環境改善に向けて、自分たちができることに取り組もう。 ・ 地域清掃活動 ⑬ ・ 打ち水を地域に呼びかけよう ⑭ ・ 地域環境新聞の発行 ⑮ ・ 歩道に花を植えよう 等

#### 4 単元の評価規準

- (1) 学校や地域の環境と自分たちの暮らしとの関わりを興味・関心をもって調べ、限りある資源やエネルギーを大切にしている。(エコスタイルチェック記入内容、エアコン・ルール作りの話し合いの発言分析、行動観察)
- (2) 地域の環境の特徴や現状について意欲的に調べ、情報を効果的に活用して、自分の考えを分かりやすく表現している。(ワークシート記述内容、情報収集の方法と的確さ、事実に基づいた理解)
- (3) 地域の環境改善に向けての取組を実践している。(活動状況の分析)